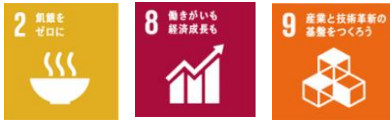


普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年)5月 20 日
所 属 名:高島農産普及課
番 号:H26005
発 信 者 名:三溝、吉岡、山下



JAのブドウトレーニングハウスが始動！

JAレーク滋賀は、ブドウを植栽した1～2年目の方を対象にブドウトレーニングハウスでの研修を企画され、7名の申込がありました。当課はJAに対して当取組を提案し、講師として4月21日の第1回講義では「芽かき」、5月11日の第2回講義では「枝管理・房づくり」について説明しました。

JAレーク滋賀(旧JA新旭町)は、平成27年度末に水稻育苗ハウスにブドウを植栽され、令和6、7年度は高島地域農業センター等と連携して高島市民を対象とした園芸講座「たかしま野菜・園芸塾」の実習ほ場として提供されてきました。

その成果等もあり、2年間で新たに9名の方がブドウを植栽されました。しかし、ブドウの苗木を植栽してから1～2年間の栽培管理は、主枝育成が中心であり、房管理を経験することができません。そこで、当課はJAに対しブドウを植栽された1～2年目の方を対象に、房管理を中心とした栽培技術を習得する場(トレーニングハウス)として提供してはどうかと提案したところJAが主体的に運営されることになりました。

当課はJAと連携して対象者に参加を促した結果、7名が申し込まれました。講義では当課職員が資料を用いてテーマとなる作業内容を説明した後に実演を行い、その後参加者に割り当てられた樹を実際に作業していただく実習形式にすることで、参加者は作業をとおして管理方法を理解されました。

今後もJAトレーニングハウスで新規のブドウ生産者が早期に技術習得できるよう支援していきます。



講義・実習(左:1回目「芽かき」、右:2回目「枝管理・房づくり」)